

# CASBEE神戸ver.3

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

(使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-8D\_NC\_2016(v2.1))

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                     |
|----------|-----------------------|--------|---------------------|
| 建物名称     | (仮称)三栄源エフ・エフ・アイ株式会社   | 階数     | 地上5F                |
| 建設地      | 神戸市西区見津が丘7丁目6番4       | 構造     | S造                  |
| 用途地域     | 工業地域                  | 平均居住人員 | 50人                 |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 2,200時間/年(想定値)      |
| 建物用途     | 工場                    | 評価の段階  | 実施設計段階評価            |
| 竣工年      | 2020年9月 予定            | 評価の実施日 | 2019年7月23日          |
| 敷地面積     | 43,526 m <sup>2</sup> | 作成者    | 株式会社INA新建築研究所 山田 祐希 |
| 建築面積     | 7,250 m <sup>2</sup>  | 確認日    |                     |
| 延床面積     | 22,393 m <sup>2</sup> | 確認者    |                     |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外の 73%  
④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質**

**Q のスコア = 2.5**

**Q1 室内環境**

Q1のスコア = 2.6

**Q2 サービス性能**

Q2のスコア = 2.8

**Q3 室外環境(敷地内)**

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性**

**LR のスコア = 3.3**

**LR1 エネルギー**

LR1のスコア = 4.0

**LR2 資源・マテリアル**

LR2のスコア = 2.7

**LR3 敷地外環境**

LR3のスコア = 3.2

| 3 CASBEE神戸 の重要項目                             |   |   |
|--|---|---|
| <b>バリアフリー計画</b><br>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画<br>1.0 | <b>建築物の耐震性等</b><br>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振<br>3.0<br>Q-2/2.4 信頼性<br>2.6 | <b>まちなみ・景観への配慮</b><br>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮<br>3.0 |
| 配慮の概要<br>0                                   | 配慮の概要<br>0  | 配慮の概要<br>0                                      |
| その他の配慮事項<br>0                                |   |   |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される